

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日令和 5 年 2 月 28 日

事業所名：発達支援フォローアップ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広さは国で決められた基準を十分に確保しており利用人数や活動に応じて机や椅子の場所を変えるなど工夫している。	はい:13名 どちらともいえない:2名 わからない:1名	見学時や面談時や来所時に広さが十分であることをお伝えすると共に、利用者の状態や活動内容に合わせて工夫し、今後も快適な環境の提供に努めて参ります。
	2 職員の適切な配置	利用人数を踏まえて保育士、児童支援員等、適切な人員を配置しています。	はい:9名 どちらともいえない:1名 いいえ:1名 わからない:5名	必要に応じて保護者に配置数について説明し、専門性についてはより一層努力をして参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	指導訓練室は段差はほぼなく障がい特性に配慮した室内作りを心掛けています。玄関の段差は支援員が適宜に補助、見守りを行い、勝手口段差は普段は使うことはなくゲージにて安全を確保しています。	はい:15名 わからない:1名 ・主要室をメインとし、他の室は直接主要室よりアクセスでき、スタッフが直ぐに見渡せるようになっています。	今後も安全性に配慮し快適に過ごせるように努めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃と消毒を行い清潔を保ち感染症対策を行っています。温度計・湿度計を設置し常時把握し、管理しています。利用者の手洗い・手指消毒する等の支援を行っています。	はい:14名 わからない:2名 ・伺ったときはいつも整理整頓できています。	今後も整理整頓を心掛け、快適に過ごせるように努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングで話し合い必要に応じて業務改善や支援の振り返り、共有できるように努めています。		今後も職員同士積極的な話し合いを継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていません。		要望があれば今後外部の評価の活用を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内での研修や外部講師による研修や動画等の研修に参加するなど、全ての職員と共有することで資質向上に努めていきます。		今後も社内研修や外部研修に参加し知識・技術の習得に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援期間ごとに面談(感染対策の為希望の方には電話面談)を行っている。保護者と支援内容の確認を行いお子様の日々のご様子を確認した上で保護者と課題を共有し、計画書を作成しなすています。	はい:15名 どちらともいえない:1名	今後も丁寧にアセスメントを行い、ニーズに合わせたよりよい支援計画の作成に力を注ぎます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団療育・個別療育での様子をもとに個々の特性・課題に応じた計画書を作成しています。		今後も一人一人に現状に合わせた支援を行えるよう計画書を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者と課題について話し合い共有したことをもとに項目設定を行い、項目ごとに具体的な目標と支援内容をわかりやすく記載するように努めています。	はい:15名どちらともいえない:1名	今後も項目ごとに丁寧に説明しわかりやすく記載いたします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々のミーティングで職員全体の情報共有を行い支援計画をもとに、統一した支援を行っています。	はい16名 ・先生たちのサポートにより確実に成長している実感があります。 ・自分で靴下を脱いだり靴下を脱ぐ機会が多くなり手先の作業訓練になっているのかな?と思いました。製作では苦手なことが多いと思うのでどのように工夫するのか?もしくは強制しないのかは聞いていなかったですが本人が行くことを嫌がってなさそうなので良かったです。	今後も現状を継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で日々の活動を振り返り利用者一人一人の特性や状況に合わせて、毎日の活動やプログラムを考えて立案・修正をしています。		今後もチーム全体で活動を発案・実行していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	今年度は就学前のお子さまのみのご利用となっております。平日、休日、長期休暇の区別がなく通われている。月ごとに行事を入れたり季節に合わせて活動内容は変わるように工夫しています。		今後、又就学後のお子さまがご利用される際は平日、休日長期休暇と考えていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れ、体操やダンス、サーキット、感触遊び、制作など様々なレクリエーションを用意し、いろいろな体験ができるように工夫しています。利用者一人一人が積極的に参加できるように職員全体で支援します。	はい12名、どちらともいえない1名、わからない3名 ・毎日色々な遊び、ワーク等で学んでいるので飽きずに通えている。 ・毎日楽しい活動をして下さり子どもも楽しんで通えています。	今後もお子さまの興味・関心に答えられるよう意欲的に取り組みます。保護者の方にも活動内容を積極的に伝えていける場を設けるよう努めます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日ミーティングを行いお子さまの利用時のご様子情報共有、伝達、役割分担の確認を行い、変更の際も職員全体都度伝達し、情報共有しています。		今後も現状を継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日のお子様の様子や特記事項、保護者からの伝達事項は記録し、翌日のミーティングにて情報共有しています。		今後も現状を継続していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	お子様の様子や支援内容については、記録しミーティングをする事で統一した支援を行い必要に応じて支援の改善を行っています。		今後も現状を継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い、保護者の方と現状を共有し、見直しを行っています。		今後も現状を継続し努力します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童管理責任者が参加し、支援内容の方向性や情報共有を伝達できるよう努めています。	今後も現状を継続し努力します。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在該当の利用者はいません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当の利用者はいません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所や幼稚園・小学校と必要に応じて話し合いや情報交換を行っています。	今後も連携機関と情報共有を行い、連携を図っていきます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて関係機関と情報共有が図れるように対応します。	保護者からの要望があれば今後も検討していきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携は行っており、研修の受講は必要に応じて増やして行きます。	今後必要に応じて研修の受講を検討します。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在はコロナウイルス感染対策の為行っていません。	はい:9名いいえ:1名わかりません:6名	今後は感染対策をしっかりと取りながら必要に応じて交流を検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍の為現在は行っていません。		今後必要に応じて検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者と契約時、面談時など説明を行っています。	はい:14名 どちらともいえない:2名	今後も一層丁寧に説明を行っていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながら普段のご様子をお話して説明を行っています。	はい:12名、どちらともいえない:2名、わからない:2名	今後も丁寧に説明を行っていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方から相談があれば、助言させて頂いております。	はい:5名どちらともいえない:4名いいえ:3名わからない:4名 ・定期的に自宅の様子をメールを通じて伝えています。 ・プログラムとしての支援は受けていませんが、精神的な面のアドバイスなど適宜いただいています。	今後も保護者に寄り添い必要に応じてよりよい助言・対応できるよう努めていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との連絡ノートの活用とお子様のお引き渡しの際の伝達や、必要時は電話を行い、日頃から情報共有できるように努めています。	はい:15名わからない:1名 ・サービス提供記録で細かく記入しているので日々の活動が良くわかります。 施設の様子も迎えに行ったときに支援員さんから細かく教えて下さって助かっています。	今後も保護者の方へわかりやすくお伝えして共通理解に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	お子様のお引き渡しの際や連絡ノートに記載の内容やお休みの際のご様子をお聞きする際の電話、面談時などにお話をお伺いしております。	はい:15名いいえ:1名 ・面接対応もあり、送迎の際にも助言もある。	今後も、保護者の方が相談しやすい環境を提供していけるよう努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は行えていません。	はい:4名どちらともいえない:1名 いいえ:6名わからない:5名 ・現在保護者同士の連携の必要性を感じてません。	保護者の方の必要性を勘案しながら検討いたします。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情対応及び対応内容の説明をさせて頂いております。苦情があった際には、改善策を話し合い保護者にもお伝えさせて頂いております。	はい:11名どちらともいえない:1名 わからない:4名	面談時に説明し苦情やご指摘をいただいた際は、迅速に対応致します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思疎通が難しいお子様には支援員が傍につき目で見て分かる、耳で聞いてわかる、そのお子様にあった支援方法で情報伝達を行います。	はい:15名どちらともいえない:1名 ・メール、電話、お手紙で返事が早いです。 ・電話連絡を事業所からいただき、必要な連絡はいただいています。	今後も必要に応じて文字・絵カード・文書・メールなどのツールを使用し対応します。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現在、定期的な通信は発信しておりません。必要に応じて行事ごとのお知らせ等配布しております。	はい:9名どちらともいえない:2名いいえ:3名わからない:2名 ・季節の行事も取り入れて下さりサンタさんと一緒にプレゼントをもらっている写真など頂けて家では出来ない経験ができてうれしく思います。 ・口頭や連絡票では伝えてもらっているがHPなどの情報はないので何か子どもの様子を知れたらと思います。	定期的な通信・ホームページ等情報発信を検討していきたいと思っております。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は鍵付き書庫に保管しており、職員全員に取り扱いの重要性を周知しております。破棄する書類は、シュレッダーを使用しております。	はい:12名わからない:4名	今後も現状を継続すると共に契約時面談時に個人情報の取り扱いについて保護者に丁寧に説明していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に緊急時の対応・避難先について等の説明をしています。各マニュアルを作成し、職員全員が周知しています。	はい:13名 わからない:3名	今後も現状を継続していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に一回、各災害・不審者等の発生を想定した避難訓練を行っています。	はい:16名	今後も現状を継続し研修により新しい知識を取り入れていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を作り虐待について定期的にミーティングや研修を行っております。		今後も現状を継続し研修により新しい知識を取り入れていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象児童はおりませんが、身体拘束を行う場合は、保護者と話し合い、同意をいただき支援計画に記載と記録を行います。		今後様々な方法を検討した上で、やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者の方へ丁寧な説明をし、支援計画に記載します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあるお子様に対しては、保護者の指示のもと対応しております。また、レクリエーション等で対象食物を提供しない、食事の際の、テーブル・椅子の区別、食後の清掃・消毒を行っております。		今後も現状を継続し保護者または医師の指示書に基づいて、適正に対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは都度作成しております。作成後は、日々のミーティングで報告を行い、職員全体で周知徹底、改善に努めています。		今後も現状を継続し、再発防止・事故防止に努めていきます。